

令和元年度第3回富里市水道事業運営協議会 会議録

- 1 開会年月日 令和2年1月27日（月）
開会場所 富里市水道事業所 会議室
開会時間 午後1時30分
閉会時間 午後2時10分

2 委員

職 名	氏 名	出欠の状況
会 長	内 田 三 十 四	出席
職務代理	山 田 照 好	出席
委 員	梁 田 富 郎	出席
委 員	宮 本 和 子	欠席
委 員	戸 村 恭 子	出席
委 員	森 岡 眞 美	出席
委 員	菅 谷 広	出席
委 員	藤 崎 富 雄	出席

出席者7名、欠席者1名

3 事務局

富 里 市 長 五十嵐 博 文
都市建設部長 森 秀 樹
都市建設部上下水道課
参 事 萩 原 三 夫
主 幹 小 川 豊
副 主 幹 並 木 義 昭
副 主 幹 横 瀬 成 幸
主 査 石 井 慎 一

4 会議に付した議題及び結果

- (1) 令和2年度 富里市水道事業会計予算書（案）について
（全員承認）可決
(2) 令和2年度 水道事業会計予算重点事業（案）について

(全員承認) 可決

5 審議の経過

開 会

(会長)

富里市水道事業運営協議会条例第6条第2項の規定により委員の過半数以上の出席がありますので、この会議は成立します。

ただ今から、令和元年度第3回富里市水道事業運営協議会を開会します。

市長挨拶

(市長) ～挨拶～

議 題

(1) 令和2年度 富里市水道事業会計予算書(案)について

(2) 令和2年度 水道事業会計予算重点事業(案)について

(会長)

それでは、市水道事業運営協議会条例第6条に基づき議長として会議を進行します。

本日の議題は2つです。

ご審議よろしくお願いします。

なお、議題1と議題2は関連性がありますので、事務局より併せて説明いただいて質問等は一括、採決は別々ということをお願いします。

それでは、議題1の令和2年度富里市水道事業会計予算(案)及び議題2の令和2年度水道事業会計予算重点事業(案)について説明をお願いします。

(事務局)

それでは「令和2年度富里市水道事業会計予算」について、説明させていただきます。

「令和2年度富里市水道事業会計予算書」の3ページをお開きください。

まず、第2条、業務の予定量についてですが、(1) 給水件数につきましては、過去の実績等を考慮し、前年度比2.5%増の17,900件を見込んでいます。

次の(2)年間総配水量については、441万2,000立方メートル、(3)1日平均配水量は、1万2,088立方メートルを見込んでいます。

次の(4)主な建設改良工事については、「浄水場施設更新工事」及び「石綿管更新工事」を予定しています。

工事概要については、議題(2)の重点事業でご説明します。

次に、第3条、収益的収入及び支出、並びに4ページの第4条、資本的収入及び支出の予定額ですが、これらの内訳については、8ページからの「富里市水道事業会計予算実施計画」でご説明します。

8ページをお願いします。

主な項目についてご説明します。

まず、第1項営業収益、1目給水収益ですが、先ほど予定配水量のところでもご説明しましたが、実績から増額を見込んだもので、前年度比2.8%増の9億6,382万円を計上しました。

次に、第2項、営業外収益の4目、加入金ですが、実績等を考慮し、前年度比4.2%増の4,807万8千円を計上しました。

9ページをお願いします。

支出の内訳ですが、第1項、営業費用、1目、原水及び浄水費は、前年度比10.5%増の5億2,595万2千円を計上しました。

水質検査委託料や、受水費等を計上しています。

増額の要因としては、受水量の増によるものです。

続いて、2目、配水及び給水費ですが、前年度比13%減の1億3,528万円を計上しました。

委託料や修繕費、動力費等を計上しています。

続いて、3目、総係費ですが、前年度比6.7%減の1億1,214万3千円を計上しました。

職員人件費や水道料金徴収事務委託料等を計上しています。

11ページをお願いします。

中段、4目、減価償却費ですが、前年度比4.2%増の2億640万8千円を計上しています。

次に、第2項、営業外費用、1目、支払利息及び企業債取扱諸費は、支払計画に基づき前年度比9.9%減の2,369万3千円を計上しました。

12ページをお願いします。

「資本的収入及び支出」の主な項目をご説明します。

まず、収入ですが、企業債は浄水場施設更新工事及び石綿管更新工事への借入として、1億円を計上しています。

13ページをお願いします。

支出ですが、第1項、建設改良費、1目、配水設備拡張費は、前年度比31.7%減の1億1,457万8千円を計上しました。

主な支出は、施設整備費として、浄水場施設更新工事等の費用を計上しています。

減額の要因としては、継続費の年割額の差額によるものです。

次に、3目、管路改修工事費は、前年度比2.2%減の1億2,337万3千円を計上しました。

主な支出は、次の14ページの表中段、施設工事費として、石綿管更新工事等の費用を計上しました。

下段の第2項、企業債償還金は前年度比5.8%増1億3,171万6千円を計上しました。

予算書の3ページをお願いします。

まず、3条、水道事業収益から水道事業費用を差し引いた収益的収支は、ほぼ同額を見込んでいます。

次に、4ページの4条、資本的収入から資本的支出を差し引いた資本的収支は、2億7,081万8千円の不足が生じますが、こちらは、損益勘定留保資金等での補填を予定しています。

第5条、起債の借入れですが、浄水場施設更新工事及び石綿管更新工事に対して1億円の借入れを予定しています。

起債の方法、利率、及び償還の方法については、表に記載のとおりです。

5ページをお願いします。

第6条の予定支出の各項の経費の金額の流用、第7条の議会の議決を経なければ流用することのできない経費、第8条のたな卸資産の購入限度額は、記載のとおりです。

なお、15ページ以降は、法令で定められた添付書類ですので、説明は省略します。

令和2年度富里市水道事業会計予算の説明については以上です。

続いて、令和2年度水道事業会計予算重点事業（案）を説明します。

まず、浄水場内の工事ですが、別紙図1をご覧ください。

昨年に引き続き、富里市浄水場他施設更新工事のⅢ期目を実施します。

内容としては、この管理棟の1階にある電気室内に、令和元年に設置した新設の受変電設備へ、既設受変電設備からの切り替え工事を実施します。

切り替えの実施予定は、令和2年度の4月頃実施する予定です。

続いて、配水管等の更新工事ですが、別紙図2をご覧ください。

令和元年度に実施した市道4-0016号線及び市道4-0089号線で、既設管のモルタル充填と舗装本復旧工事を予定しています。

内容は、市道4-0089号線の既設管モルタル充填工φ150mm施工延長170mと舗装本復旧工2,620㎡です。

続いて、別紙図3をご覧ください。

立沢台ニュータウンの配水管更新工事です。

内容は、φ150mmの既設塩化ビニル管を水道配水用のポリエチレン管に更

新するもので、施工延長は400mを予定しています。

また、舗装本復旧工事2, 400㎡も予定しています。

続いて、別紙図4をご覧ください。

市道01-003号線のφ200mm石綿管更新工事を160mとφ75mmの切り替え箇所の配水管更新工事を15m予定しています。

以上が工事予定です。

続いて、業務委託ですが、別紙図5をご覧ください。

浄水場監視設備外更新工事の詳細設計を発注の予定です。

内容は、この管理棟2階の中央操作室にある、ミニグラ操作盤、データ処理装置、コントローラ盤、計装盤を更新する工事の詳細設計です。

その他の委託業務ですが、平成30年度から実施しているメーター検針同時の漏水調査を引き続き実施します。

実績として、一昨年10月から昨年12月までで調査件数6, 366件中、異音確認件数225件、宅地内漏水24件、公道漏水1件を発見しています。

また、令和元年度発注し、現在作業中の経営戦略及び新水道ビジョンを令和2年度内に完成させるべく実施していきます。

以上が、令和2年度水道事業会計予算重点事業（案）です。

（会長）

事務局より説明がありましたが、質問等がありますか。

（委員）

予算書9ページの原水及び浄水費が前年度と比較して10%以上の増加、中でも受水費が大幅に増加になるということはどういうことですか。

（事務局）

受水費について、この後、改めて「その他」の中でご説明しますが、八ッ場ダムの供用開始に伴う受水量増加の影響です。

（委員）

加入金について、新規の加入は見込めるのでしょうか。

（事務局）

ここ数年来、予算額を上回る収入がありますので、来年度も急激な変化がなく横ばいで推移していくと推測しています。

（委員）

水道事業会計予算重点事業の浄水場施設更新工事で、新設の受変電設備への切り替え工事を令和2年度の4月頃実施するとのことですが、これについては大変難しいと思いますが、できるだけ断水事故等が起こらないようお願いします。

(事務局)

断水は絶対に起こさない体制で行います。

(委員)

ぜひ、慎重をお願いします。

(会長)

他に質問等がありますか。(なしとの声あり)

それでは、議題（１）「令和２年度 富里市水道事業会計予算書（案）について」の採決を行います。

本議題について承認される方は挙手願います。

挙手全員です。よって本議題は、承認されました。

次に、議題（２）「令和２年度 水道事業会計予算重点事業（案）について」の採決を行います。

本議題について承認される方は挙手願います。

挙手全員です。

よって本議題は、承認されました。

次に、その他です。

(事務局)

先ほど、お話が出ていました受水に関する説明ですが、八ッ場ダムの供用開始に伴う今後の受水計画についてということで、お手元の資料もご覧いただければと思います。

八ッ場ダムの工期は昭和４２年から令和元年で、今年度、完成を予定しており、令和２年度４月からの供用開始の予定となっています。

印旛広域水道用水供給事業の水源として、現在、奈良俣ダム、令和２年４月完成予定の八ッ場ダム、その後、令和６年４月に霞ヶ浦導水が供用開始の予定です。

これらの供給水量の中に富里市分の水源が含まれています。

この受水とは別の水源として富里市には地下水として永久井が２本あり１日当たり３，０００立方メートル、暫定井が３本あり１日当たり４，５００立方メートルで、現在７，５００立方メートルの自己水源を持っています。

そこで八ッ場ダム完成の影響による今後の受水計画となるわけですが、令和２年度から霞ヶ浦導水の供用開始までの間は印旛広域水道用水供給事業の受水量が８，０００立方メートルとなる予定です。

令和元年度の受水量が７，０００立方メートルですので、それと比較して１，０００立方メートルの受水が増加します。

先ほど、費用として受水費が増加しているというご質問がありましたが、理由としては、自己水源を減らしその分を受水に切り替えるといった事情です。

千葉県の立場としては、暫定井を残した状態で印旛広域水道からの水を買わないということは、認めないということです。

暫定井はあくまで暫定のものですので代替水源ができた時点で代替水源に転換すべきであるということです。

これに伴い水道事業経営はかなり圧迫されることとなります。

これについては、先ほども話がありましたが、今年度と令和2年度の2ヵ年間の継続事業として取り組んでいます、水道ビジョン、経営戦略においても、暫定井の取水量削減の影響等も踏まえて策定を進めているところです。

暫定井の今後の取り扱いについては関係機関との協議を続けていきたいと思っています。

(委員)

いよいよ、来るべきものが来たというところですね。

(会長)

今までは、我々もそれほど問題意識もなく過ごしてこられましたが、これからは富里市の水道は変わっていくと思われます。

そういったことで委員の皆さんには、これからも色々と意見を出していただきたいと思います。

(会長)

当然、将来的には料金値上げということになりますよね。

(事務局)

一概にこの場で回答することはできませんが、先ほども説明しましたが、現在、水道ビジョン、経営戦略の策定に取り組んでいます。

この中で今後の見通しも出てくると思います。

それを見極めながら進めていきたいと考えています。

(会長)

印旛広域水道事業からの受水費は1立方メートル当たりいくらですか。

(事務局)

令和2年度の単価は1立方メートル当たり157円と消費税です。

(委員)

富里市には井戸が5本あって水質的にも問題なく、地盤沈下も起こるはずのないものです。

そこにきてこの良質な暫定水源を潰せというのは納得がいかない。

もともと奈良俣ダム、八ッ場ダム、霞ヶ浦導水というのはバブル期の人口が増え続けるという時期に決められたもののはずです。

現在は少子化等の影響で人口が減っているわけですから、当時の状況と現在

の状況が違ってしまっている中でこれだけの規模のダムが完成したからその水を買えというのは一市民としても納得できない思いです。

(市長)

たしかに委員のおっしゃるとおり私も以前からこの件については疑問点がございました。

今、担当からもありましたように、まずは水道ビジョンを作る。

そしてまた、その経営戦略の中で富里市のシミュレーションを含めて、今後どうなっていくのか、というものをしっかりと把握することが、まず一つだと思っています。

それに基づいて、私のほうは、当然安定した水の供給をおこなうというのは、もちろんのこと、料金についても、いくらこういう事情があったからといって市民負担を急激に増やすということは、私自身も納得できない部分があります。

ですので、水道ビジョン、経営戦略がしっかりとできた段階で見極めさせていただいて、千葉県に対しては、私自身最大限努力はさせていただくつもりであります。

色々な考え方がございますので、やはり段階的な部分もありますでしょうし。

そういったことも含めて、とにかく市民に負担が急激に表れないように、そして水道事業経営に支障のないようにしっかりと千葉県に申し入れますので、今日のところはまだその根拠となるものが出来上がっていないので、それ以上のお話ができないのですが、今後ともよろしくお願いしたいと思います。

(会長)

みなさんこの件についてはよろしいですか。(はいとの声あり)

その他、ありますか。

(事務局)

次回の運営協議会開催については、本年7月頃、議題は「令和元年度富里市水道事業会計決算」を予定していますので、よろしくお願いします。

閉 会

(会長)

以上で令和元年度第3回富里市水道事業運営協議会を閉会します。